

子育てに優しいまち

少子化や核家族化が進んだことで、子育てに不安や悩みを持つお母さんが増えています。今回は、地域の子育て活動と子育てを応援する市のさまざまな事業を紹介します。



▲1月9日と10日の両日、区内の小学校グラウンドで開かれた地域の親子のふれあい交流「ゆきだ！みなみくんまつり」。約300人の親子が、学生ボランティアと一緒に雪遊びを楽しみ、交流を深めました（写真は真駒内曙小学校）

子育て環境に大きな変化が

子育てを取り巻く環境は、近年大きく変わりました。少子化の影響で、子供たちは兄弟姉妹や友達と触れ合う機会が少なくなっています。また、都市化の進展により近所付き合いが希薄となり、身近にいる子育て経験の豊富な人に、教わったり、相談したりする機会も減ってきました。そのため、子育てに不安や悩みを抱えている人が少なくありません。

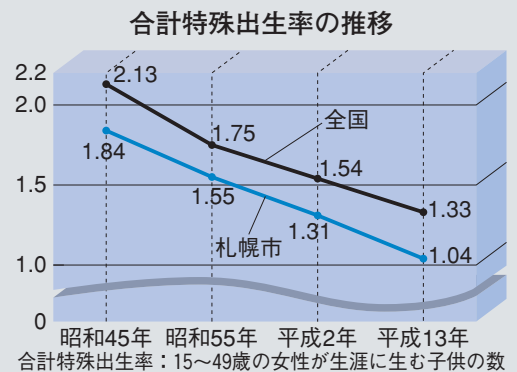
こうした状況に対応するため、本市では「子育て家庭への支援」と「地域で子育てを支える環境づくり」を目指し、さまざまな事業を展開しています。

楽しい子育ては仲間づくりから

楽しい子育てには、仲間づくりが欠かせません。児童会館で週一回開かれている「子育てサロン」は、地域で暮らす親子が気軽に集い、交流できる場です。

ここでは、親子同士が一緒に遊べるほか、区役所の職員が、子育ての相談やサークルづくりのお手伝いをしています。

石山地区在住の親子でつくる「げんきids」も、子育てサロンがきっかけで誕生したサークルの一つです。「少子化のため、子育て家庭は地域に点在していること



▶石山地区子育てサロン。サンタさんの登場に子供たちは大喜びです



が多く、子供の遊び相手を見つげるためにも、同じ年ごろの親子と知り合う機会がほしかったんです」と語るのは、副リーダーの木下順子さん。月に三回、公園や児童会館を利用して、水遊びや紙芝居、ゲームなどを楽しみ、親ほくを深めています。

また、子供の発育や子供への接し方など、子育て中の母親はさまざまな悩みや不安を抱えています。ちょっとしたことで、身近な地域で気軽に仲間たちと相談できることは心強いもの。「みんなとのたわいなおしゃべりが一番の気分転換ですね」と語る木下さん。日ごろ育児で忙しい母